

## 令和4年度特別会計決算

特別会計は、特定の事業を行う場合や特定の収入により事業を行う場合、その事業に係る経理を一般会計と区別する必要があるため、条例により設置している会計です。

### 国民健康保険特別会計

|    |            |
|----|------------|
| 収入 | 15億 1466万円 |
| 支出 | 14億 8530万円 |

主な収入は、国民健康保険税 2億 3207万円、県の補助金 10億 7670万円、一般会計からの繰入金 1億 4105万円です。主な支出は、医療費 10億 5205万円、国民健康保険事業費納付金 3億 7612万円などです。

### 国民宿舎特別会計

|    |        |
|----|--------|
| 収入 | 2340万円 |
| 支出 | 2340万円 |

主な収入は、一般会計からの繰入金（繰越分）が 1026万円、消費税還付金 680万円、指定管理者納入金 414万円です。主な支出は、トイレ設備などの改修工事費（繰越分）1026万円、一般会計繰出金 1022万円です。

### 後期高齢者医療特別会計

|    |           |
|----|-----------|
| 収入 | 2億 5465万円 |
| 支出 | 2億 4576万円 |

主な収入は、加入者が納めた後期高齢者医療保険料 1億 7746万円、一般会計からの繰入金 6740万円です。主な支出は、後期高齢者医療広域連合納付金 2億 3592万円です。

### 公共下水道事業会計

|       |           |
|-------|-----------|
| 収益的収入 | 8億 2227万円 |
| 収益的支出 | 8億 454万円  |

|       |           |
|-------|-----------|
| 資本的収入 | 3億 3429万円 |
| 資本的支出 | 5億 1141万円 |

主な収益的収入は、下水道使用料 3億 5614万円、一般会計からの負担金と補助金 1億 3971万円です。主な収益的支出は、管渠やポンプ場、浄化センターの費用 2億 2836万円、企業債利息 887万円です。

主な資本的収入は、国庫補助金 1億 5552万円です。主な資本的支出は、中ノ浜ポンプ場水処理設備等建設工事委託 1億 2600万円、企業債元金償還金 1億 5945万円です。

### 給食センター特別会計

|    |           |
|----|-----------|
| 収入 | 1億 4376万円 |
| 支出 | 1億 4172万円 |

主な収入は、給食費収入 3816万円、一般会計からの繰入金 1億 401万円です。

主な支出は、給食材料費 5622万円、そのほかは、委託料、光熱水費、人件費などです。

### モーターボート競走事業会計

|       |              |
|-------|--------------|
| 収益的収入 | 1276億 7059万円 |
| 収益的支出 | 1228億 1994万円 |

|       |            |
|-------|------------|
| 資本的収入 | 44万円       |
| 資本的支出 | 14億 5343万円 |

主な収益的収入は、芦屋本場開催の発売金などの開催収入 907億 471万円、他場開催の発売金などの場外発売受託事業収入 369億 1903万円です。主な収益的支出は、売り上げに伴う払戻金や交付金、選手賞金などの開催費 819億 8298万円、他場開催の払戻金などの場外発売受託事業費 359億 6332万円です。

資本的収入は、土地購入に伴う借地権の返還金 44万円です。主な資本的支出は、投票機器のリース料や施設の改修工事などの建設改良費 14億 5255万円です。

### 地方独立行政法人 芦屋中央病院貸付金特別会計

|    |           |
|----|-----------|
| 収入 | 4億 1884万円 |
| 支出 | 4億 1884万円 |

芦屋中央病院の町債の借り入れや、借り入れた町債の返済を行うための会計です。

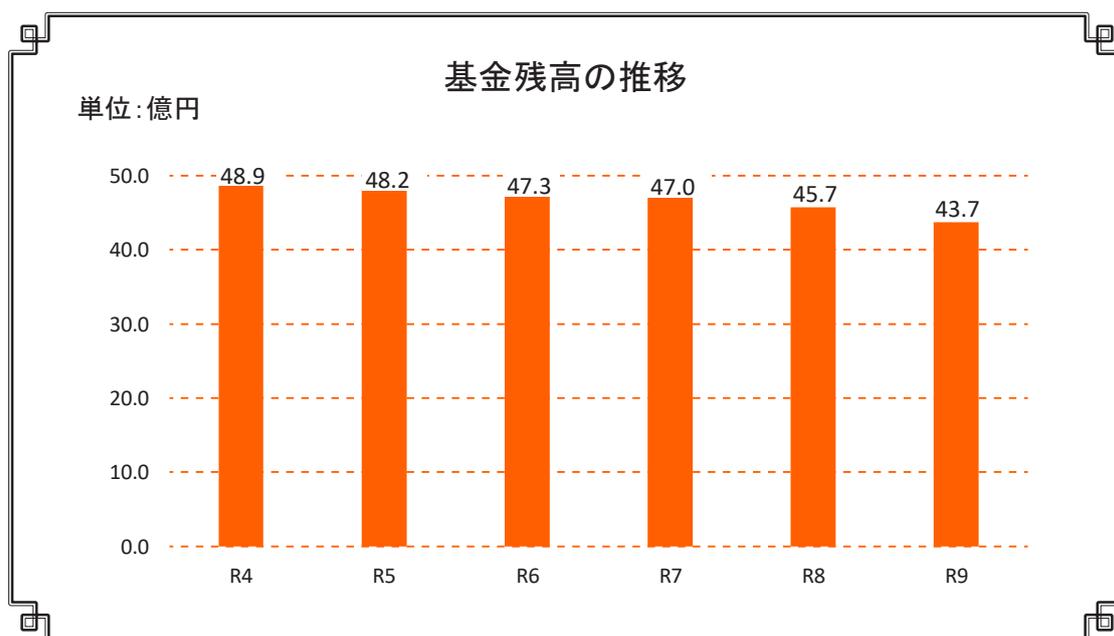
主な収入は、医療機器整備のために借り入れた町債 5430万円です。主な支出は、町債の返済費用で 3億 6454万円です。

# 今後5年間の財政運営の見通し

## (財政シミュレーション)

財政シミュレーションとは、今後の町の財政運営がどうなっていくのかを令和4年度決算と令和5年度決算見込額の数値を参考に、一定の設定条件のもと作成したものです。

このなかで、町の貯金にあたる「基金」がどのように推移していく見込みであるか説明します。



### ■5年後の基金残高見込みは 40億円を確保

基金残高の推移をみると、令和9年度末は40億円を確保する見込みです。

### ■昨年度シミュレーションとの比較

今回作成した財政シミュレーションと昨年度作成したものを比較してみると、令和9年度末の基金残高は約2億3千万円減少しています。

減額の主な要因として、普通建設事業費などの投資的経費の増加が挙げられます。

### ■芦屋町の基金残高は比較的多い (令和3年度決算)(※1)

芦屋町の標準財政規模(※2)に対する基金残高の割合は、108%です。

福岡県内60市町村で100%を超えているのは21市町村なので、芦屋町の基金残高は比較的多いといえます。

基金残高が多い理由のひとつとして、モーターボート競走事業収入が挙げられ、この収入は令和9年度まで継続して見込んでいます。このため、今後も100%前後の見込みで推移することから、引き続き安定的な財政運営ができるものと判断しています。

(※1) 福岡県が公表している最新の決算情報は令和3年度分です。

(※2) 標準財政規模とは、地方公共団体の一般財源の標準的な規模のことで、経常的に収入しうる一般財源の大きさを表します。